

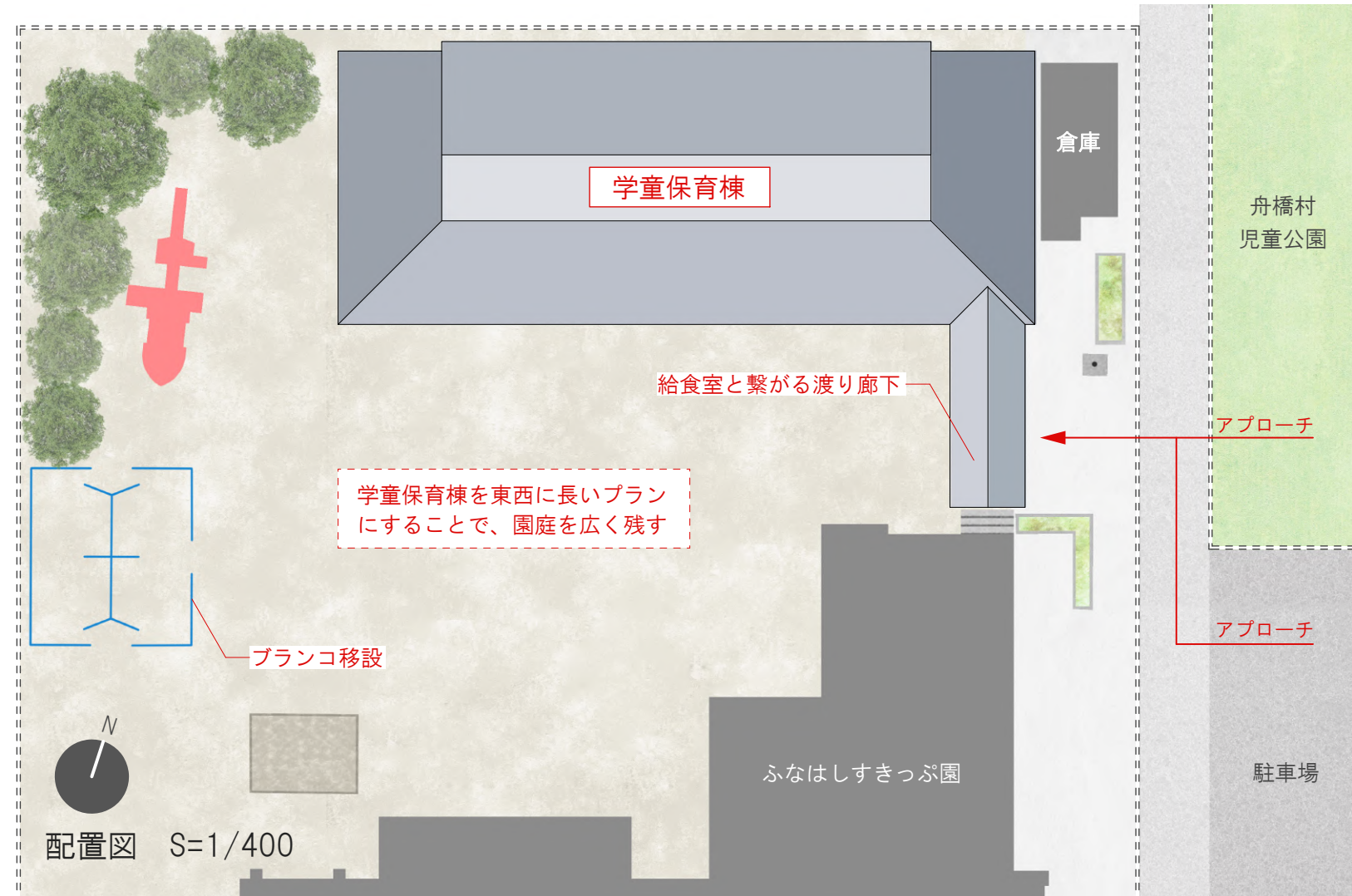


『 関わりを紡ぐ大きな屋根 』

安心で安全な施設	安心で安全な施設とするため、 地域社会による見守りの重要性 は大きいと考える。人同士の「関わり」を増やし、「見守り」を誘発する建築を提案する。
柔軟な使い方ができる施設	児童数や活動に対して柔軟に対応するため、学習室をホールも含めてオープンにし、 各エリアが曖昧な計画 とする。静と動の混在を認め合うことが、他人格と自己の肯定にもつながるのではないかと考える。そして曖昧さは、 学童時間外での関係者による多様な施設活用も可能 にする。
スタッフにも優しい施設	スタッフの精神的な不安を減らすため、 施設全体を見渡せる開放的な室内 とする。結果、移動距離が少なく済み、身体的な疲労も軽減される。また、屋根付きの渡り廊下は、すきっぷ園と協働(給食等)や既存倉庫を利用する際の作業性を高める。 多雨多雪な富山の気候に適した建築 とする。
地域で育む施設	村民が関わり共に育むことを象徴するため、大屋根を支える構造は 小口径木造のシザーズトラスとした。構造的合理性だけでなく、複数の梁が屋根を支え合う様は、 村を挙げてこの施設に関わる姿を連想 させる。それは外壁のガラスを通して広く認知されるであろう。この建築は、様々な世代が関わる全員参加型社会を示唆している。一方、無垢材を用いた木造とすることで建築時のCO2排出を削減し、 持続可能な未来へのメッセージ となる。
村内の施設や団体との連携など、自由な活動が可能な施設	用途や天候を限定しない多様な利用を可能にするため、園庭と施設内をつなぐ 深い軒下空間を設ける 。そのことが児童を見守る関わりを増やすことを助長する。人々の関わりによって 相互扶助意識を紡ぐ 、舟橋村ならではの学童保育を目指す。

◆計画概要	◆主要部門の床面積
延床面積(法定) / 324.4㎡	構造 / 木造
建築面積(法定) / 385.2㎡	耐火種別 / 準耐火建築物 (イ準耐)
	最高の高さ / 6,500 mm

◆外部仕上	◆内部仕上
屋根 / ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺き	学習室1,3、事務室、ホール
軒裏1 / ケイカル板 AEP塗装	床 / 複合フローリング
軒裏2 / 野地板の上、木材保護塗装	壁 / PB 15の上、AEP塗装
外壁1 / ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺き	天井 / PB 12.5の上、AEP塗装
外壁2 / 窯業系サイディングの上、弾性アクリル樹脂塗材吹付	学習室2
	床 / 和紙畳
	壁 / PB 15の上、AEP塗装
	天井 / PB 12.5の上、AEP塗装
	トイレ、シャワー・洗濯室、教材 庫
	床 / 硬質塩ビタイル
	壁 / PB 15の上、ビニールクロス張り
	天井 / PB 12.5の上、ビニールクロス張り



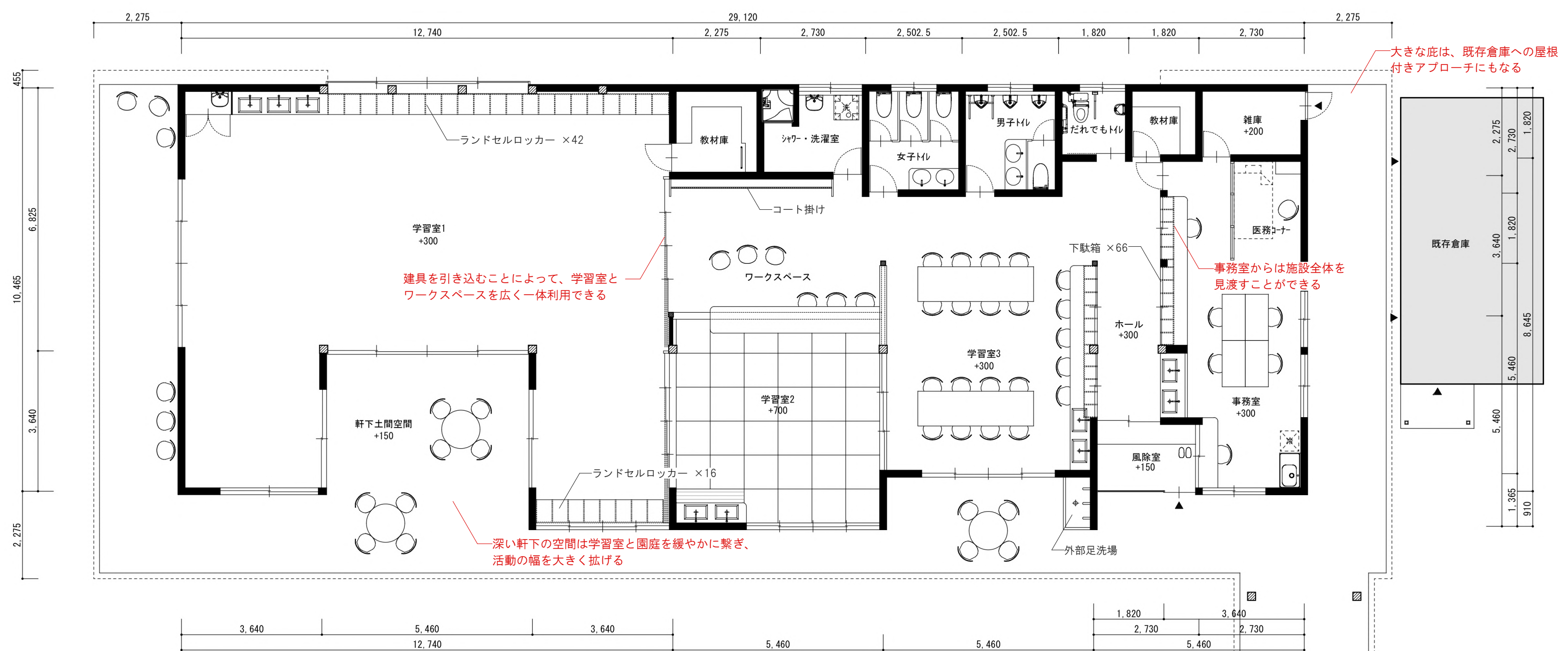
児童公園から学童保育棟を見る

大きな屋根が児童を迎え入れると共に、園庭を包み込む。間口の広い軒下空間により、将来的には児童公園と一体になったイベントなども可能になる。また、ガラスから垣間見える構造体は、舟橋村の子育て環境をシンボリックに表す。

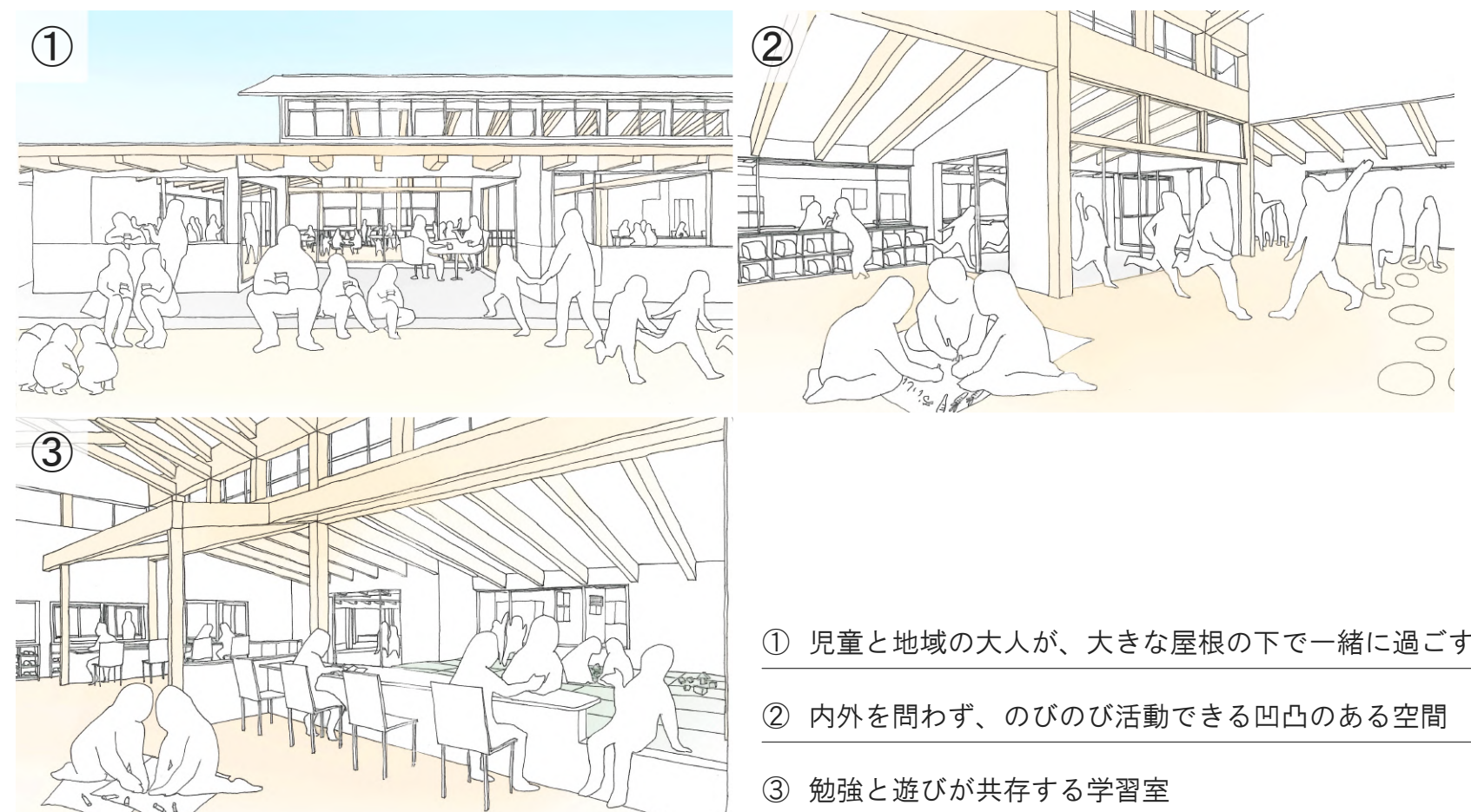


南側 立面図 S=1/150

東側 立面図 S=1/150



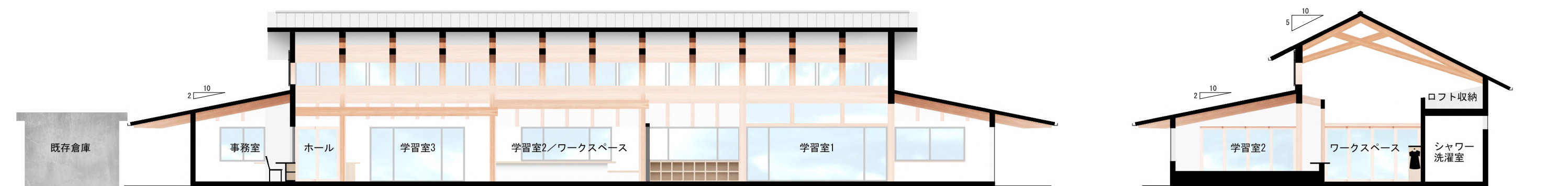
■ 柔軟性のある空間構成により、様々なシーンが展開される



- ① 児童と地域の大人が、大きな屋根の下で一緒に過ごす
- ② 内外を問わず、のびのび活動できる凹凸のある空間
- ③ 勉強と遊びが共存する学習室



平面図 S=1/100



断面図1 S=1/150

断面図2 S=1/150